

会 長 方 針

2025～2026年度

会長 宮下進司



2025-2026年度の会長をさせていただくことになりました。私がクラブにいらしていただき5年となりました。会長の責務に身の震える思いであります。地区、クラブ等で様々な活動をさせていただいておりますが、まだまだロータリーについて浅薄な知識しかなく、皆様からのご指導・ご鞭撻をいただきたいと思っております。

2025-2026年度RI会長のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カルマゴ氏は、テーマを置かない理由の一つとして「単年度のRI会長テーマにクラブが縛られない」ためであると述べました。RI会長は、成長・奉仕・つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取り合えるロータリーを築き、全ての人のためにより明るい未来を実現させましようと言われ、「よいことのために手を取りあおう」を会長メッセージとしました。

また、第2540地区の桑山ガバナーは、「ロータリーを学ぼう」学ぶことによってロータリーの世界が実感できます。ロータリアンの誇りと自覚が強化されます。一人ひとりがロータリアンとしてのストーリーを持ちましよう。と言われ、「ロータリーを学ぼう」と呼びかけました。

ロータリークラブは異業種の会員と交流できる貴重な場です。家族・親族・同級生とは違った語り合い、活動もできます。参加して楽しく、ロータリーを学べるクラブとしていきたいと考えています。

今年一年間、皆様よろしくお願いいたします。

